常陸太田市
里美地区

土砂災害ハザードマップ

1：里川町

がけ崩れ、土石流、地すべりなど、土砂災害のほとんどは長雨や大雨が引き金となって発生します。常陸太田市では土砂災害に対して市民の皆様がすばやく安全な場所に避難し、被害を最小限に抑えることを目的に「土砂災害ハザードマップ」を作成しました。
土砂災害危険箇所、避難場所、災害に関する知識などを本ハザードマップを用いて確認して下さい。

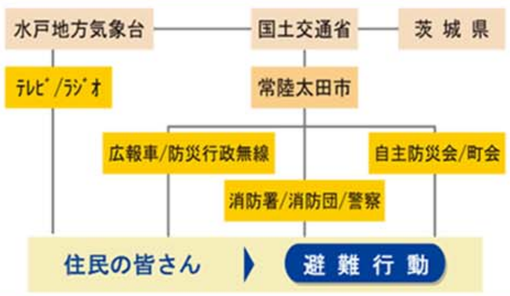
お問い合わせ先：「常陸太田市役所　防災対策課」　TEL:0294－72－3111(代)/FAX:0294-72-3002
〒313-8611　茨城県常陸太田市金井町3690番地　URL:http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/　E-mail:info@city.hitachiota.ibaraki.jp

このマップの使い方

　このマップに自分の家や近くの避難場所までのルートを記入して、我が家の防災マップを作成しましょう。また、災害の発生時にどのように行動するかを日頃から話し合うことも重要です。

①自分の家を確認する
　地図の道路や学校などの目標物を見付けて自分の家を確認しましょう。
②周辺の土砂災害警戒区域等を確認する
　自分の家の周辺にある土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域を確認しましょう。
③避難する場所を確認する
　地図に記載されている最寄りの避難場所の名称と場所を確認しましょう。
④避難経路を考える
　自分の家から避難場所までの避難経路を考えましょう。できるだけ土砂災害警戒区域や河川・水路など大雨の時に危険な場所の少ない経路を選びましょう。
⑤実際に歩いてみる
　地図を使って確認した避難場所までのルートを実際に歩いて、ルート上の目印や避難するときに注意すべき場所を確認しましょう。
⑥災害時の対応を話し合う
　大雨が降った時、災害が発生した時、避難指示があった時、どのように行動するかを家族や近所の人と話し合って情報を共有しましょう。

避難情報伝達の流れ



いざ！という時の連絡先

土砂災害の前触れや土砂災害が起きたら、こちらまでお知らせください。

機　関　名	所　在　地	電話番号
常陸太田市役所	金井町3690	72-3111
茨城県 常陸太田工事事務所	山下町4119	80-3360
太田警察署	木崎二町1727-7	73-0110
常陸太田市消防本部	山下町1693	73-0119

わが家の防災メモ

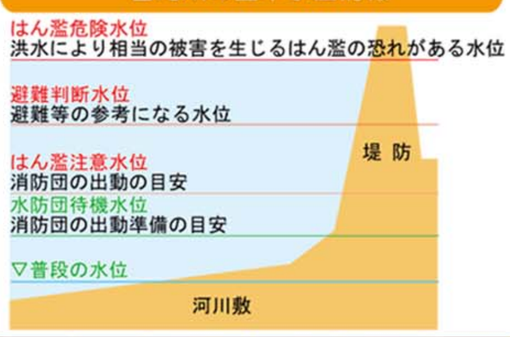
家族で相談し、連絡先や避難場所などを書き込みましょう。

年　月　日	名前	生年月日	血液型	連絡先
わが家の避難場所				
家族の集合場所				
緊急連絡先				
メ モ 欄				

※災害時は電話がつながりづらい場合があるので、メールも有効な手段です。

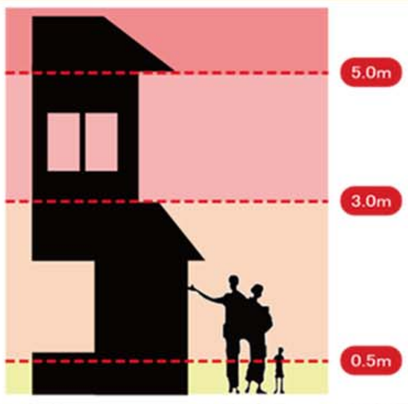
気象、災害等の情報収集

各河川の基準水位情報



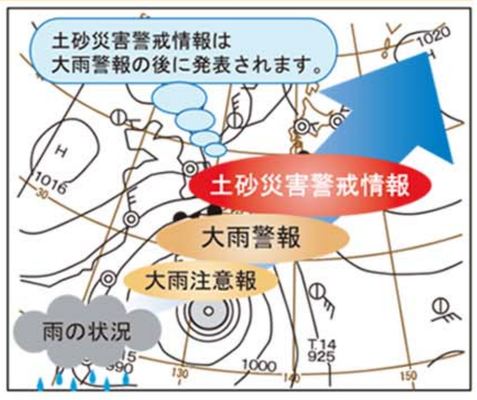
河川名	観測所	水防団待機水位	はん濫注意水位	避難判断水位	はん濫危険水位
久慈川	富岡	1.50	2.50	2.90	3.50
	榊橋	2.70	3.70	6.20	6.70
里　川	機初	2.00	3.00	3.00	3.10
山田川	常井橋	2.00	3.00	3.50	3.80
浅　川	大方	2.19	2.66	2.88	3.83

想定浸水深の目安



河川の状況は、以下の茨城県、国土交通省のホームページで入手できます。
茨城県土木部 雨量・河川水位情報
http://www.kasen.pref.ibaraki.jp/
国土交通省　川の防災情報
http://www.river.go.jp/

土砂災害警戒情報



土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害を防ぐために、
1 住民の皆さんの避難準備や自主避難の判断
2 市町村の避難勧告や避難指示等の発令を支援する情報です。

降雨の状況や今後の予測などから、茨城県と水戸地方気象台が連携して発表します。
発表は市町村ごとに行われます。
土砂災害警戒情報が発表されたときは非常に危険な状態です。
土砂災害の危険度は、以下の茨城県のホームページで入手できます。
茨城県土砂災害警戒情報
http://www.dosya.kasen.pref.ibaraki.jp/dosya/

特別警報について

もしも「特別警報」が発表されたら・・・

特別警報とは・・・
「数十年に一度しかないような非常に危険な状況」
をお知らせするものです。

経験したことのないような異常な現象が起きそうな状況です。
ただちに命を守る行動をとってください。
市の避難情報に従う・避難場所へ避難する等、適切な行動を！
外出が危険な場合は、建物の2階など少しでも安全な場所にとどまりましょう。

■特別警報の種類

現 象	発表の基準		基準(参考値)
大　雨	台風や集中豪雨により、数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合		48時間雨量279mm 3時間雨量118mm 土壌雨量指数197
暴　風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合	－
高　潮		高潮になると予想される場合	－
波　浪		高波になると予想される場合	－
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合		－
大　雪	数十年に一度の降雪量となる大雪と予想される場合		－

避難場所一覧

No.	名　称	所在地	電　話	No.	名　称	所在地	電　話
1	里美小学校	大中町60-1	70-7833	8	高齢者生産活動センター	大中町982-1	82-2342
2	里美中学校	大中町60-1	82-2008	9	里美保健センター	大中町975	82-3111
3	里川コミュニティセンター	里川町117-1	－	10	白幡台コミュニティセンター	大中町2779-104	－
4	徳田コミュニティセンター	徳田町431	－	11	里美文化センター	折橋町623	82-2204
5	小妻コミュニティセンター	小妻町591	－	12	折橋コミュニティセンター	折橋町623	－
6	小中コミュニティセンター	小中町1538-2	－	13	小菅コミュニティセンター	小菅町2705	－
7	大中コミュニティセンター	大中町1625	－	14	上深荻大菅コミュニティセンター	上深荻町228-1	－

※着色している避難場所は被災する恐れがあります。　土砂災害

避難時の注意点

風や雨が強くなってきたら、TVやラジオ、インターネットで情報を収集しましょう。

1人で避難せずに、隣近所と声を掛け合いながら避難しましょう。

裏面の危険箇所や浸水箇所を確認し、安全なルートで避難しましょう。

非常時持ち出し品と一緒にハザードマップを持って避難しましょう。

避難時の持ち物

避難時には次のようなものがあると便利です。
これらは、土砂災害以外の災害時にも役立ちます。
日頃から、準備・点検しておきましょう。

避難所生活の心得

　避難所では、大勢の人と共同生活を送ることになります。不自由なことがたくさんありますが、互いに協力し合い、譲り合うことが大切です。避難所生活での主な一般的なマナーとルールは次のとおりです。
（1）共同生活の和を乱さないように、決められたルールや役割を守り、「自分たちのことは自分たちで」を基本に協力して生活しましょう。
（2）お互いのプライバシーを尊重し、大声を出したり、むやみに他人の場所に立ち入らないようにしましょう。
（3）室内は原則として火気厳禁・禁煙です。
（4）トイレは最も密接な共有施設です。汚してしまったら自分で清掃するようにしましょう。
（5）ごみの分別収集を徹底し、ごみ集積場は清潔に保ちましょう。
（6）介護が必要な方は、原則として家族が介護を行ってください。（介護する方は、あらかじめ避難所の運営組織に届け出てください。）
（7）高齢者や障がい者、乳幼児を抱えた人など、多様な要配慮者への配慮が必要です。
（8）救援物資の配給は原則としては平等です。但し、緊急の場合は、高齢者や子供など要配慮者を優先して配給します。
（9）自宅への立ち入りが可能な場合は、いったん自宅に戻り備蓄食料や毛布などを避難所に持ち寄りましょう。
（10）避難所から別の場所へ移動するときには、必ず避難所の運営組織に届け出てください。

避難情報について

種類	避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告	避難指示(緊急)
発令時の状況	被害の発生する可能性が高い状況 お年寄りや体の不自由な方など、避難行動に時間を要する方が、避難を開始する段階です。	被害の発生する可能性が明らかに高まった状況 通常の避難行動ができる方が避難を開始しなければならない段階です。	被害の危険が急迫している状況
とるべき行動	・避難行動に時間を要する方は、避難所へ避難してください。 ・上記以外の方は、いつでも避難できるように、準備をしましょう。	お互いに助け合って、速やかに避難所に避難してください。	危険が迫っているので、直ちに避難所へ避難してください。

低　緊急の度合い　高

※避難準備情報、避難勧告の発令の主な目安は、以下のとおりです。
　①連続雨量が100mmを超えた時
　②連続雨量が100mmを超え、時間雨量が30mm以上の雨が予想される時
※避難情報が発令されなくても、身の回りの状況を見て、危険な状況の場合は、自主的に早めの避難を心がけて下さい。
※降雨が激しく、屋外への避難が困難な場合は、自宅二階などに待機して下さい。
※災害時には、個々人がおかれた状態に応じて、自らの判断で臨機に避難行動を取って下さい。

危険な雨の降り方と強さの目安

激しい雨
1時間に30～50mm

バケツをひっくり返したような激しい雨。道路規制も行われ、避難の準備が必要です。

非常に激しい雨
1時間に50～80mm

滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。
河川があふれる可能性がある激しい雨です。

猛烈な雨
1時間に80mm以上

滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。車や家屋等が水に浸かる可能性が強く、厳重な警戒が必要です。

土砂災害の種類

がけ崩れ

地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちる現象ががけ崩れです。突発的に起こり、瞬時にして崩れ落ちるので、逃げ遅れる人も多く、被害が大きくなります。

土石流

谷や斜面に溜まった土や石、砂などが、大雨による水と一緒に一気に流れ出して発生します。破壊力が大きく、また流れる速度が速いため、大きな被害をもたらします。

地すべり

比較的緩やかな斜面において、地中の粘土層などのすべり難い面が地下水などの影響で、ゆっくりと動き出す現象です。
一気に広範囲で発生するため、住宅や道路、鉄道などに大きな被害を及ぼします。

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域とは

●土砂災害警戒区域は、土砂災害のおそれがある区域で、住民の生命又は身体に危害の生じるおそれがある区域です。
●土砂災害特別警戒区域は、土砂災害警戒区域のうち、建築物に破損が生じ、住民の生命又は身体に著しい危険の生じるおそれがある区域です。

土砂災害の前兆現象

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

・がけから水が噴き出す。
・がけからの水が濁る。
・小石がパラパラと落ちて、がけから木の根が切れるなどの音がする。

土石流

・山鳴りや立ち木の裂ける音が聞こえる。
・石のぶつかり合う音が聞こえる。
・雨が降り続いているのに、川の水位が下がる。
・川の水が急に濁ったり、流木が流れてくる。
・泥臭いにおいが漂う。

地すべり

・山腹や地面にひび割れ・段差ができる。
・沢や井戸の水が濁る。
・斜面や地面から水が噴き出す。
・建物や電柱、樹木が傾く。
・井戸や野池の水かさが急激に変わる。